

ねん がつ ぜんばん
2024年12月8日前晩

たいこうせつだい しゅじつ
待降節第2主日

きくち いさおすう きぎょう
菊地 功 枢機 卿 メッセージ

がつなの か せい だいせいどう きょうこうさま すう きぎょう しょうごう
12月7日、わたしはバチカンの聖ペトロ大聖堂において、教皇様より枢機卿の称号
をいただきます。すう きぎょう たん めい よしよく きょうこうさま こもんだん ひとり
枢機卿とは単なる名誉職ではなく、教皇様の顧問団の一人として、
きょうかいぜんたい やくわり は もと たち ぼ もと
教会全体において役割を果たしていくことが求められる立場です。その求められている
やくわり は じぶん じゅうぶん じかく おそ なか ふる
役割を果たすには、自分が十分ではないことをよく自覚し、恐れの中で震えております。
わたしが求められている つと ちゅうじつ は
わたしが求められている務めを忠実に果たすことができるように、これからもみなさま
いの ささ ねが もう あ
のお祈りによる支えをお願い申し上げます。

せんれいしゃ しゅつげん つた ふくいん しょ いんよう すく ぬし
洗礼者ヨハネの出現を伝えるルカ福音は、イザヤ書を引用しながら、ヨハネが救い主の
せんくしゃ おし せんれいしゃ あ の しゅ みち ととの
先駆者であることを教えています。洗礼者ヨハネは「荒れ野」で、「主の道を整え、そ
の道筋をまっすぐにせよ」と叫ぶ声だと記されていますが、その響き渡る声によって、「人
みちすじ さげ こえ する ひび わた こえ ひと
は皆、神の救いを仰ぎ見る」と福音は記します。

きょうかい げんだいしゃかい あ の い うば ぼうりよく
わたしたち教会も、現代社会という「荒れ野」に生きています。いのちを奪う暴力が
はびこり、せんそう つづ り こてき かちかん しい
戦争が続き、利己的な価値観が支配する、「いのちの荒れ野」に生きています。
げんだい あ の なか きょうかい しゅ みち ととの みちすじ
その現代の「いのちの荒れ野」のただ中であって、教会は「主の道を整え、その道筋
をまっすぐにせよ」と呼びかける声であり続けたいと思います。

すう きぎょう せいそう いろ しんく ふくいん じゅんきょう
枢機卿がいただく正装の色は深紅です。それは福音のために殉教すらいとわなないとい
けつ い しょうちょう じしん きょうかい せんとう た げんだいしゃかい む
う決意を象徴しています。ですからわたし自身が教会の先頭に立って、現代社会に向
かい、「主の道を整え、その道筋をまっすぐにせよ」と叫ぶ覚悟を持たなくてはなりま
せん。どうじ きょうかいぜんたい つと したが みな きょうかい
同時には教会全体の務め、すなわちキリストに従う皆さんとともにある教会
の務めです。

あ の なか た きょうかい あゆ とも せいぼ
この「いのちの荒れ野」のただ中に立つ教会と歩みを共にしてくださるのは聖母マリア
がつようか むげんざい せいぼ さいじつ ことし たいこうせつだい しゅじつ かさ よくじつ
です。12月8日は無原罪の聖母の祭日ですが、今年は待降節第2主日と重なるために、翌日
へんこう せいぼ きず かみ あい つつ こ
に変更となっています。聖母マリアは、傷ついたわたしたちを神の愛で包み込み、とも

に歩み、共に、「主の道を整え、その道筋をまっすぐにせよ」と叫ぶ声になってくださいます。

ともに歩んでくださる聖母の取り次ぎに信頼しながら、これからも共に、荒れ野に響きわたる先駆者の声であり続けましょう。